

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」



『挨拶を交わし 場を清め 時を守る』

校長 下地 秀隆

中堅研「當間匠先生」道徳3年4組「研究授業」

◆10月29日(水)中堅研の道徳の研究授業が5校時に3年4組で行われました◆SDGsの視点から社会参画や公共の精神など、海のゴミ問題について考え、意識と行動のギャップを埋めるべく、解決策についてグループ協議する。個人的な意見だけでなく、広く社会に働きかけることなど、グループ内で活発な意見交換が行われました◆



【指導主事補より】「授業について」◆教材の持つ良さや特性を十分に生かした授業展開の工夫ができていた◆ねらいとしている道徳的価値に即して、教材研究がなされているか？常に立ち返ることが大事ですね◆教材の持つ内容にひっぱられることはよくあることなので、軌道修正・整理しながら進めていきましょう◆

【生徒の様子】発言があまりなかったのが気になりましたが、グループ内では発言もあって、たくさんの意見が出ていたので、全体での発言として、意見が言えるとより授業も盛り上がると思いました。



◆生徒感想①今日やってみて、自分ができる社会の役に立つことを、小さくてもいいからやって行きたいと思いました。自分の身の回りからどんどん良くして、人にも伝えていけたらいいと思います◆

◆生徒感想②今日ごみの問題は「まちなか」に原因があることがわかりました。中学生でも、できることはたくさんあることに気づきました◆

【まとめ】今日の授業は、生徒自身が「自分事」ととらえられるかがポイントだと感じた。自分の意見を持つことで、互いに意見を出し合い改善策に繋げることが大事。